

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 62

千葉県立流山高等学校 全日制の課程
園芸科、商業科、情報処理科

1 期待する生徒像

志望する学科に対する興味・関心を有し、人物・成績に優れ次の全てを満たす生徒。

ア 志願理由が適切で、本校で学ぶ目的意識が明確な生徒。

イ 中学校で学習活動や特別活動等において積極的に取り組み、入学後も意欲的に活動する意志を持つ生徒。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	評価者3名の個人面接 検査時間：約5分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	0点の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔160点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限25点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つ以下の場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については、25点を上限として加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査（面接）〔45点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（やや問題がある）・d（問題がある）の4段階で評価する。3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aaa～ddd）で得点化する。評価が全ての項目でc、及びいずれかの項目でdの場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志願理由	志願する動機及び理由が適切である。 本校で学ぶ目的意識が明確である。
イ 高校入学後の生活	入学後の生活について、学習や特別活動等に積極的に取り組む意志がある。
ウ 身だしなみ・応答態度	身だしなみ、応答態度が適切である。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

<p>「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。</p> <p><総得点の満点の内訳></p>				
学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（K＝1）	加点	面接	
500点	135点	25点	45点	705点

(2) その他

<p>ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。</p> <p>イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。</p>
--

5 その他

<p>過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。</p>
